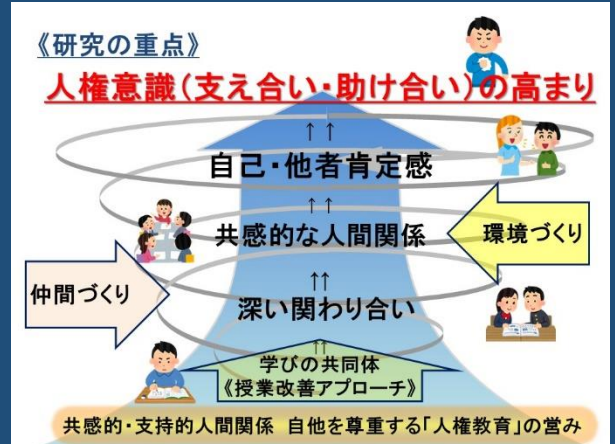
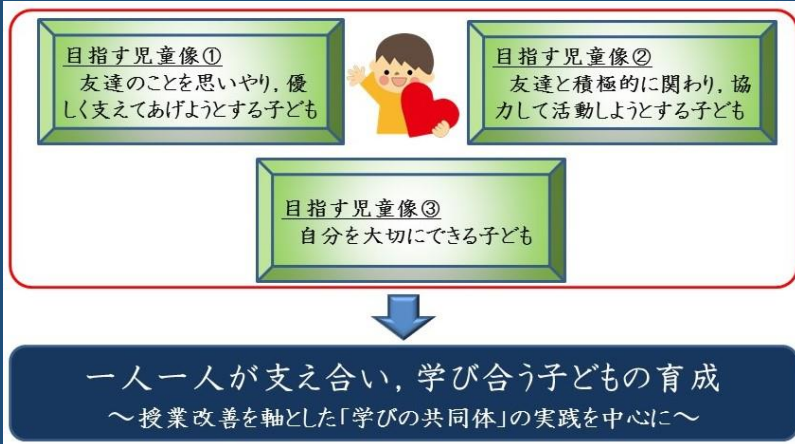


宇検村立田検小学校「人権教育」研究公開

I 研究テーマ、研究の重点、研究の実際



授業改善アプローチ

「学びの共同体」とは

子ども同士の関わりを目的とする「共に学び合い、高め合う」ことを目指した学習形態

教師主導一斉型の指導から脱却

支え合いや助け合いの気持ちが必要不可欠

仲間とのつながりを実感！
仲間と認め合い支え合う喜びを実感！

子どもたちの人権意識を高める手立てとして、効果的な考え方や学習形態である。

安心できる学校・学級であるために

朝の活動 (仲良しタイム)

人権チェックカード

人権週間 (もやもや書き)

ほめほめタイム (帰りの会)

子どもの思いを知り、寄り添うために

クラスで語り合う時間 (学級の日・毎月第1水曜日)

「こころのアンケート (もやもや書き)」の実施 (毎学期人権週間)

人権チェックカード (毎月1日「心の教育の日」に実施)

自分や学級のことを見つめる

一人一人に思いをめぐらす

みんなで共有し合う・本気で向き合う

信頼できる学級づくり・安心できる人間関係づくり

II 公開授業及び全体会・研究討議の様子



「ほくはこんなふうに考えたよ」1年



「友達と協力してやってみましょう。」2年



「この長さを測ってみよう！」あかぎ学級



「これ、どう?」「いいんじゃない!」3年



「ここが重なってるでしょ…」4年



「この考え方でよかったんだね。」5・6年複式



全体会 研究発表



研究討議 グループ協議

【公開研究会に参加された先生方より】

- 一人一人の子どもが友達の考えに寄り添って考える様子が見られた。
- 驚きや発見が持続され、教師の待つ姿勢や、よりよい方向に近付こうとする姿が見られた。
- 子どもたちが心から楽しく学校生活を送っている様子がよく分かった。
- 教師が一人一人のつぶやきに高い技術で短い言葉や笑顔で返していた。
- 安心して発言できる雰囲気があり、楽しく学習する姿が見られた。